# マトリクスデータファイル 作成方法

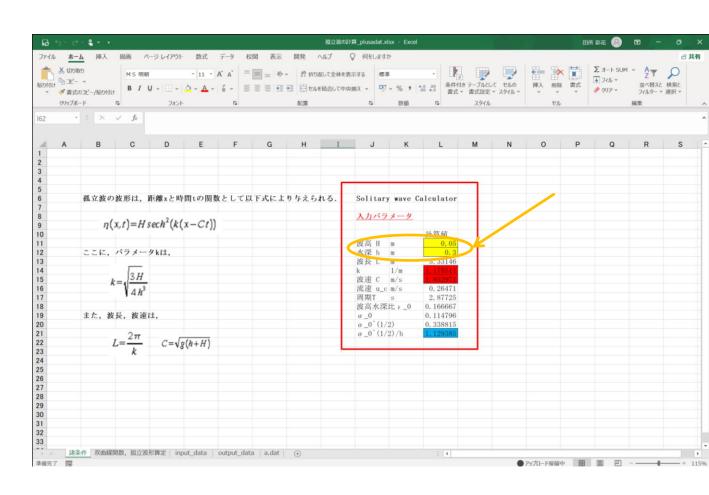
### 波形作成(1/2)

孤立波の計算\_plusadat.xlsx シート"諸条件"

**L11**:波高

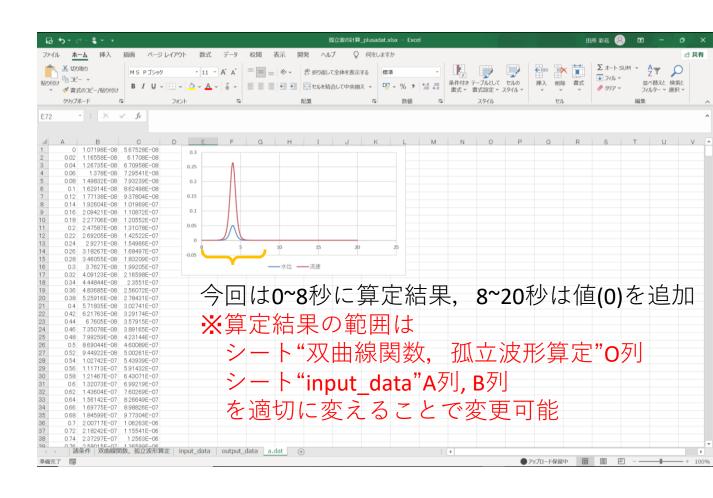
L12:初期水深

を入力



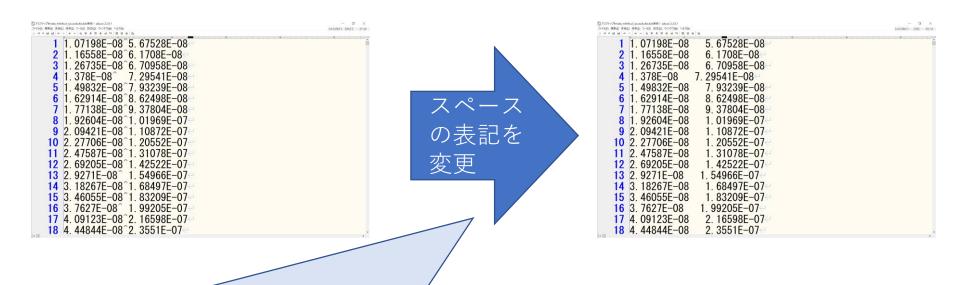
### 波形作成(2/2)

孤立波の計算\_plusadat.xlsx シート"a.dat" ※数値計算に必要な時間になるよう調整



### data.mtb出力(1/3)

孤立波の計算\_plusadat.xlsx シート"a.dat" B, C列をa.datに貼り付け ※"02.水位"の場合B列のみ



"検索"→"置換"

置換前:¥t

置換後:[スペース]×3くらい

→すべて置換

→上書き保存

置換			?	X
置換前(N) [¥t		<b>*</b>	上検索( <u>U</u> )	
置換後(P)		<b>*</b>	下検索	§(D)
<ul> <li>クリップボードから貼り付ける(T)</li> <li>単語単位で探す(W)</li> <li>✓ 英大文字と小文字を区別する(©)</li> <li>✓ 正規表現(E)</li> <li>bregonig dll Ver.3.06 with Onigmo 5.15.0</li> <li>「すべて置換」は置換の繰返し(I)</li> <li>✓ 見つからないときにメッセージを表示(M)</li> <li>✓ 置換ダイアログを自動的に閉じる(L)</li> </ul>	置換対象 <ul><li>選択文字(0)</li><li>選択始点(1)挿入</li><li>選択終点(2)追加</li><li>行削除(3)</li></ul> 範囲選択範囲(S)		該当行マ 置換 すべて置 キャンセ	(R) 計換(A)
□ 先頭(末尾)から再検索する(Z)	●ファイル全体(○)		ヘルブ	ř(H)

## data.mtb出力(2/3)

### input.datにパラメータ入力

周波数分割個数	500
造波信号サンプリング間隔	波高、流速の時系列データに合わせる
造波信号個数	(TNUM-1)×DT=造波時間
鉛直方向分割幅	水深
鉛直方向分割数	から逆算
水深	

500	!NF	周波数分割数[個]←	
0.02	!DT	造波信号サンプリング間隔[s]←	
501	! TNUM	造波信号個数(TNUM-1)×DT=造波(計算)時間←	
0.1	!DZ	鉛直方向分割幅←	
108	! DZNUM	鉛直方向分割数 (DZNUM-1) × DZ=水深←	
10. 7	! WL	水深IEOFI	

### data.mtb出力(3/3)

- ・デスクトップに新規フォルダ作成
- ・フォルダ内にa.f90, a.dat, input.datを入れる

・a.f90 をコンパイル →a.exe が出力される

#### 実行

→data.mtb , fort.1201 が出力される

